

報道関係各位

株式会社 OKB総研

第20回「主婦の消費行動に関するアンケート」結果

OKBグループのシンクタンク株式会社 OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤義徳)は、
 標題のアンケートの結果を取りまとめましたのでご紹介します。

《要約》

1. 景況感は依然として厳しいものの、若い年代で改善。

- ・景況 D.I. (「良くなった」－「悪くなった」の回答率の差) は▲8.2%ポイント。前回調査の▲26.7%ポイントより18.5%ポイント改善したものの、依然としてマイナス圏内にある。
- ・年代別にみると、全年代で「良くなった」が増加し「悪くなった」が減少した。特に20歳代と30歳代では「良くなった」が「悪くなった」を上回った。若い年代では景況感の改善がうかがえる結果となった。

2. 主婦の物価観は、引き続き上昇している。

- ・物価 D.I. (物価が「高くなった」－物価が「安くなった」の回答率の差) は、52.5%ポイントと前回調査の72.0%ポイントから19.5%ポイント下落した。
- ・ガソリン価格や各種配送費の上昇、スマートフォンの普及に伴う通信費の上昇の影響もあり、依然として半数以上の主婦が、物価は上昇していると感じている結果となった。

【調査概要】

1. 調査期間：2017年11月7日～11月10日
2. 調査方法：OKB大垣共立銀行本支店（東京・大阪を除く）に来訪した主婦（注）791名にアンケート用紙を配布・回収（無記名方式）
3. 有効回答者数：781名（有効回答率 98.7%）
4. 回答者属性：

年代	20歳代	7.3%
	30歳代	14.9%
	40歳代	29.6%
	50歳代	32.4%
	60歳以上	15.9%
住所	岐阜県	56.1%
	愛知県	40.3%
	三重県	1.8%
	滋賀県	1.7%
	その他	0.1%
就業形態	専業主婦	13.1%
	正社員・公務員・自営業	42.8%
	パートタイマー	41.0%
	内職・その他	3.2%

5. 集計結果表記：数値は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。

(注) 本調査における「主婦」とは、既婚の女性で子どもの有無や就業形態は問わない。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 間野 TEL：0584-74-2615】

1. 主婦の景況感

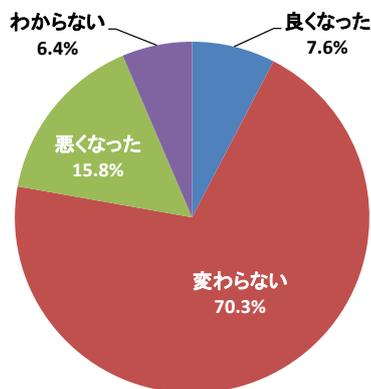
「現在（2017年）の景気は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「良くなった」が全体の7.6%、「変わらない」が70.3%

「悪くなった」が15.8%となった。（図表1）
 「悪くなった」が「悪くなった」を上回り、若い年代では景況感が改善しつつあることがうかがえる結果となった。

「悪くなった」が15.8%となった。（図表1）

全ての年代・住所・就業形態において、「良くなった」「変わらない」が増加し、「悪くなった」が減少した。（図表2）

図表1：主婦の景況感（全体）



景況D.I.（「良くなった」－「悪くなった」の回答率の差）は▲8.2%ポイントで、前回調査より18.5%ポイント改善。（図表3）

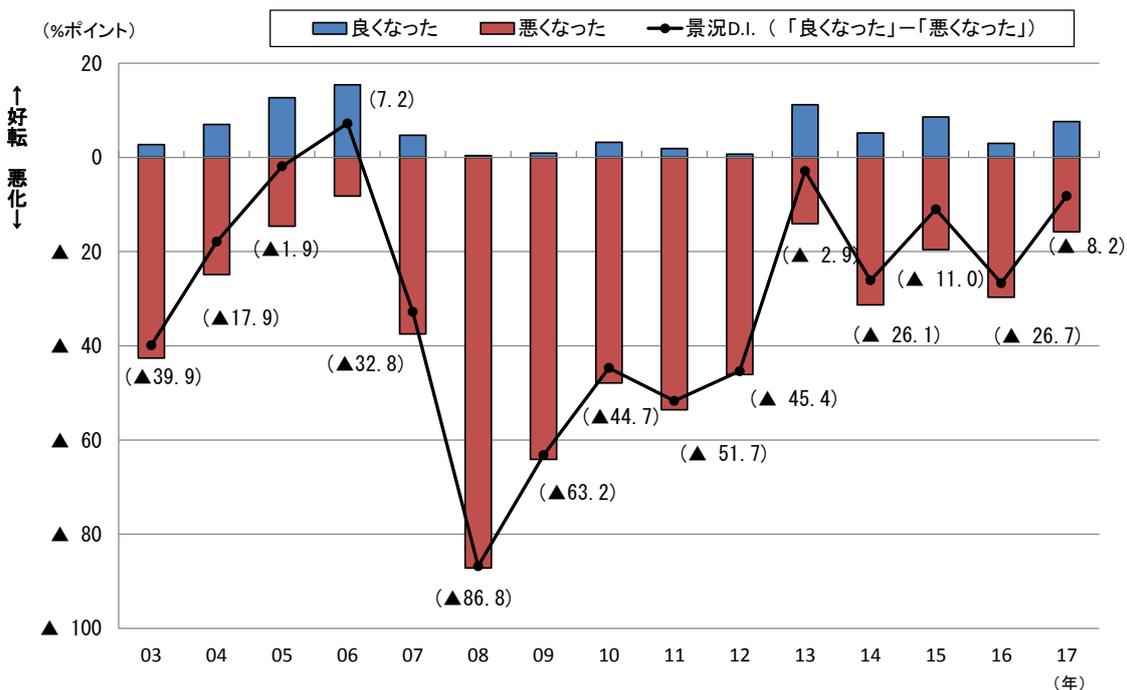
景況D.I.はマイナス圏となっており、依然として主婦の景況感は厳しさを示す結果となった。一方で年代別にみると、20歳代、30歳代では「良く

図表2：主婦の景況感（属性別）

	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない
全体	7.6 (4.6)	70.3 (10.6)	15.8 (▲13.9)	6.4 (▲1.2)
20歳代	15.8 (8.5)	63.2 (1.4)	7.0 (▲9.4)	14.0 (▲0.5)
30歳代	9.5 (7.1)	76.7 (9.2)	8.6 (▲8.9)	5.2 (▲7.5)
40歳代	3.9 (1.8)	78.8 (9.9)	12.1 (▲11.1)	5.2 (▲0.6)
50歳代	7.9 (4.7)	65.6 (11.3)	20.9 (▲15.6)	5.5 (▲0.4)
60歳以上	8.1 (5.1)	61.0 (17.4)	22.8 (▲24.6)	8.1 (2.1)
岐阜県	6.2 (4.1)	68.9 (5.7)	17.6 (▲11.5)	7.3 (1.7)
愛知県	9.9 (5.8)	71.7 (16.2)	13.7 (▲16.3)	4.8 (▲5.6)
専業主婦	7.8 (4.9)	65.7 (17.6)	15.7 (▲18.9)	10.8 (▲3.6)
正社員等	10.5 (6.7)	68.6 (9.4)	15.3 (▲14.8)	5.7 (▲1.2)
パート	4.7 (2.4)	73.0 (8.9)	16.3 (▲11.3)	6.0 (0.0)

(注)括弧内は、前年差を示す。

図表3：主婦の景況D.I.の推移



2. 主婦の物価観

「現在（2017年）の物価は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「高くなった」が全体の53.4%、「変わらない」が42.1%、「安くなった」が0.9%となった（図表4）。

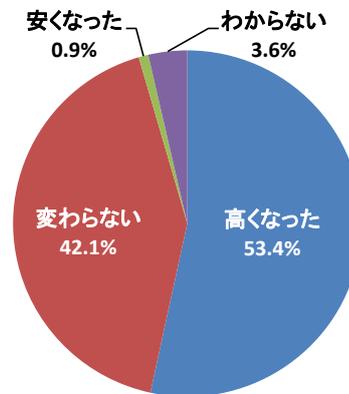
全ての年代・住所・就業形態において「高くなった」が減少し、「変わらない」が増加した。（図表5）

物価D.1.（「高くなった」－「安くなった」の回答率の差）は52.5%ポイント。前回調査の72.0%ポイントから19.5%ポイント下落した。（図表6）

ガソリン価格や配送費の上昇等の影響もあり、依然として半数以上の主婦は物価が上昇している

と感じている結果となった。

図表4：主婦の物価観（全体）

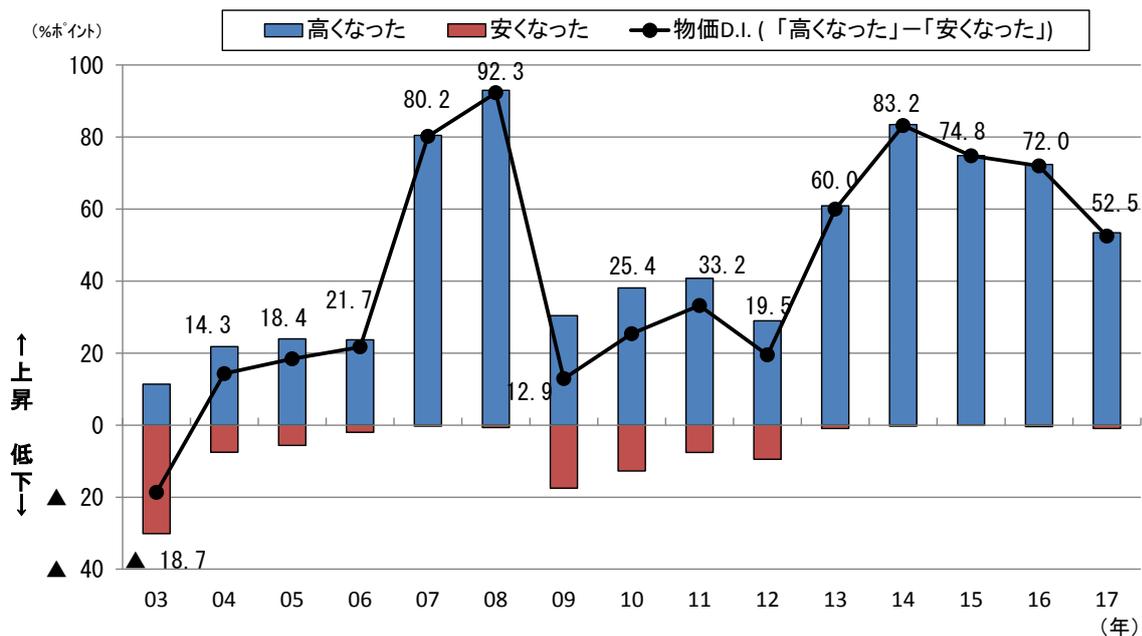


図表5：主婦の物価観（属性別）

	高くなった	変わらない	安くなった	わからない
全体	53.4 (▲ 19.0)	42.1 (18.5)	0.9 (0.5)	3.6 (0.0)
20歳代	49.1 (▲ 25.4)	40.4 (24.0)	0.0 (▲ 1.8)	10.5 (3.2)
30歳代	50.9 (▲ 20.5)	45.7 (21.1)	0.9 (0.9)	2.6 (▲ 1.4)
40歳代	59.3 (▲ 13.3)	36.4 (11.5)	0.9 (0.9)	3.5 (1.0)
50歳代	50.0 (▲ 20.8)	46.8 (20.3)	0.8 (0.8)	2.4 (▲ 0.3)
60歳以上	53.7 (▲ 20.7)	40.7 (21.9)	1.6 (0.1)	4.1 (▲ 1.2)
岐阜県	51.0 (▲ 20.6)	43.9 (18.7)	1.4 (0.9)	3.7 (0.9)
愛知県	55.7 (▲ 17.8)	40.4 (18.9)	0.3 (0.0)	3.5 (▲ 1.2)
専業主婦	49.0 (▲ 21.2)	46.1 (23.0)	1.0 (0.0)	3.9 (▲ 1.9)
正社員等	55.9 (▲ 14.6)	39.6 (14.7)	1.2 (0.6)	3.3 (▲ 0.7)
パート	50.8 (▲ 24.6)	45.5 (22.6)	0.6 (0.6)	3.1 (1.4)

(注)括弧内は、前年差を示す。

図表6：主婦の物価D.1.の推移



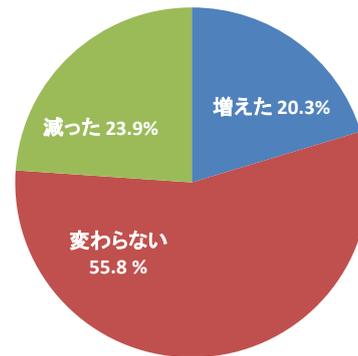
3. 家計の収支動向

(1) 家計の収入

「2017年の家計収入は、2016年と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」が全体の20.3%、「変わらない」が55.8%、「減った」が23.9%となった。(図表7)

全ての年代・住所で「増えた」が増加し、「減った」が減少した。特に20歳代、30歳代では「増えた」が30%を超え、若い年代は収入増を実感している結果となった。(図表8)

図表7：家計の収入（全体）



図表8：家計の収入（属性別）

	(%)		
	増えた	変わらない	減った
全体	20.3 (3.6)	55.8 (1.4)	23.9 (▲ 5.0)
20歳代	33.9 (6.1)	50.0 (▲ 1.9)	16.1 (▲ 4.3)
30歳代	38.8 (5.7)	53.4 (1.8)	7.8 (▲ 7.5)
40歳代	21.7 (5.8)	59.6 (▲ 3.2)	18.7 (▲ 2.6)
50歳代	12.3 (0.9)	56.1 (4.5)	31.6 (▲ 5.4)
60歳以上	10.5 (3.6)	53.2 (5.5)	36.3 (▲ 9.1)
岐阜県	18.1 (3.2)	57.6 (2.6)	24.3 (▲ 5.9)
愛知県	22.9 (3.2)	53.3 (0.1)	23.8 (▲ 3.3)
専業主婦	18.6 (▲ 2.2)	50.0 (6.4)	31.4 (▲ 4.2)
正社員等	24.3 (5.3)	56.5 (2.9)	19.2 (▲ 8.2)
パート	16.6 (4.2)	57.4 (▲ 2.5)	26.0 (▲ 1.8)

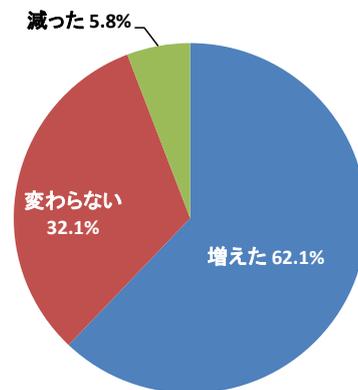
(注)括弧内は、前年差を示す。

(2) 家計の支出

「2017年の家計支出は、2016年と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」が全体の62.1%、「変わらない」が32.1%、「減った」が5.8%となった。(図表9)

ガソリンの価格が上昇していることや、スマートフォンの普及に伴う通信費の増加が、「増えた」の回答が増加している要因ではないかと考えられる。

図表9：家計の支出（全体）



図表10：家計の支出（属性別）

	(%)		
	増えた	変わらない	減った
全体	62.1 (2.2)	32.1 (▲ 0.5)	5.8 (▲ 1.6)
20歳代	66.7 (▲ 9.2)	29.8 (9.4)	3.5 (▲ 0.2)
30歳代	69.8 (5.8)	25.9 (▲ 6.1)	4.3 (0.3)
40歳代	73.2 (6.7)	22.5 (▲ 5.1)	4.3 (▲ 1.6)
50歳代	50.6 (▲ 1.7)	40.6 (2.9)	8.8 (▲ 1.2)
60歳以上	55.6 (5.2)	39.5 (0.6)	4.8 (▲ 5.9)
岐阜県	60.2 (▲ 0.3)	33.0 (0.3)	6.9 (0.1)
愛知県	63.7 (4.8)	31.5 (▲ 1.7)	4.8 (▲ 3.1)
専業主婦	58.8 (▲ 3.0)	33.3 (2.9)	7.8 (0.0)
正社員等	64.3 (5.3)	30.3 (▲ 1.4)	5.4 (▲ 3.9)
パート	59.6 (▲ 0.7)	34.5 (0.2)	6.0 (0.7)

(注)括弧内は、前年差を示す。

(3) 支出が増えた費目

「2017年の家計支出を考えたとき、2016年より支出が増えた費目は何ですか（あてはまるもの全て選択）」と尋ねたところ、「食費」が45.5%でトップであった。次に「交通・通信費」が32.1%、「教育費」が28.2%となった。年代別にみると、40歳代では「教育費」がトップで58.3%となった。子供を抱える世代の教育費負担の大きさがうかがえた。また、50歳代では「交通・通信費」がトップで38.3%であった。総務省の「情報通信白書」によると、他の年代に比べ特に50歳代でスマートフォンの普及率が大きく伸びており、このことが要因の一つであると考えられる。（図表11）

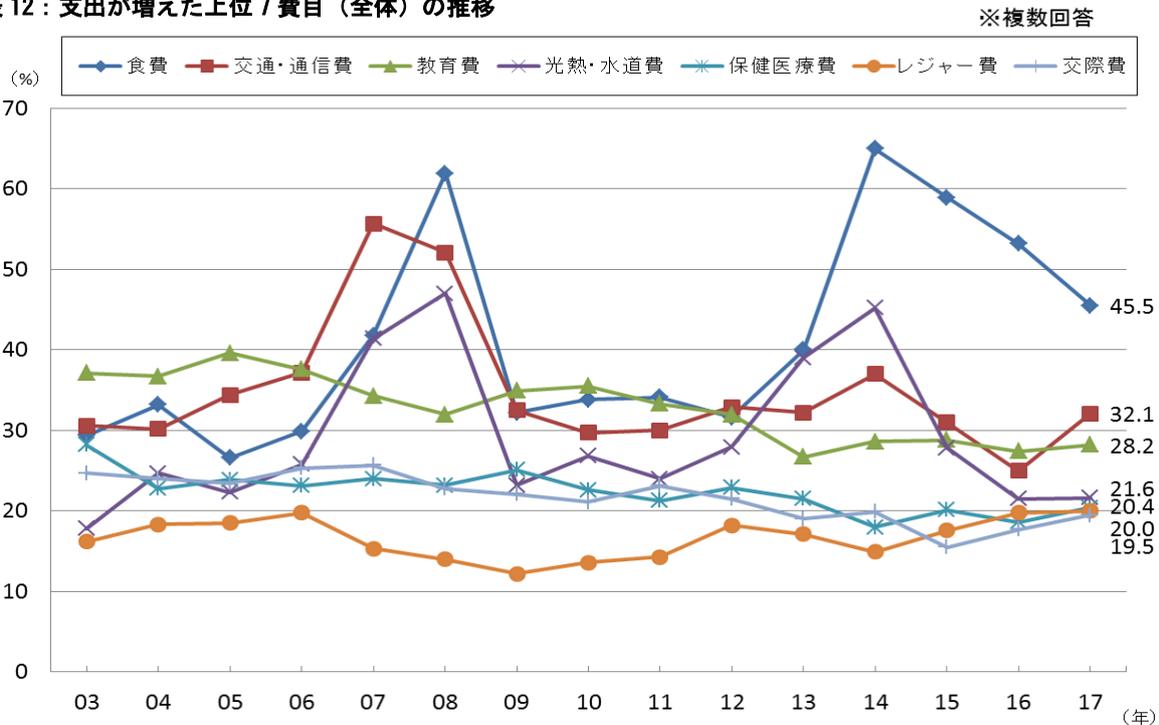
支出が増えた上位7費目（全体）の推移をみると、1位は昨年引き続き「食費」であった。夏から秋にかけて台風の接近・上陸が続いたことによる野菜価格の高騰などが影響しているものと考えられる。2位は「交通・通信費」で前年3位から順位を上げた。ガソリン価格や配送費の上昇、スマートフォンの普及に伴う通信費の上昇等が影響していると考えられる（図表12）。

図表11：支出が増えた上位7費目（属性別）

	※複数回答 (%)						
	食費	交通・通信費	教育費	光熱・水道費	保健医療費	レジャー費	交際費
全体	45.5 (▲7.7)	32.1 (7.1)	28.2 (0.8)	21.6 (0.1)	20.4 (1.8)	20.0 (0.2)	19.5 (1.8)
20歳代	53.6 (▲14.3)	41.1 (29.8)	8.9 (5.1)	32.1 (11.3)	16.1 (14.2)	28.6 (11.6)	28.6 (15.4)
30歳代	61.7 (▲2.3)	20.9 (▲3.1)	41.7 (4.1)	11.3 (▲6.3)	15.7 (2.1)	22.6 (0.2)	9.6 (▲4.0)
40歳代	49.1 (▲5.4)	32.0 (8.2)	58.3 (1.7)	20.2 (0.6)	18.9 (4.0)	12.7 (▲1.3)	7.0 (▲2.4)
50歳代	34.6 (▲9.1)	38.3 (9.9)	10.7 (0.5)	23.9 (0.6)	20.2 (▲1.7)	22.6 (▲0.2)	24.3 (0.1)
60歳以上	41.0 (▲9.0)	26.5 (▲1.7)	1.7 (0.1)	24.8 (▲1.8)	30.8 (▲1.5)	22.2 (▲2.0)	39.3 (11.1)
岐阜県	45.0 (▲5.5)	31.6 (7.8)	28.3 (0.4)	22.6 (2.0)	21.5 (2.8)	15.8 (▲0.9)	18.2 (1.7)
愛知県	45.3 (▲11.4)	31.9 (6.3)	28.0 (1.4)	19.9 (▲3.8)	18.9 (1.0)	26.1 (2.7)	20.8 (1.2)
専業主婦	49.5 (▲8.7)	32.0 (8.5)	15.5 (▲2.9)	27.8 (2.3)	29.9 (6.4)	17.5 (▲7.0)	21.6 (0.2)
正社員等	46.0 (▲6.1)	31.5 (7.5)	25.6 (1.6)	17.9 (▲4.3)	19.1 (0.8)	23.8 (3.7)	21.6 (4.2)
パート	43.0 (▲10.2)	33.4 (7.1)	33.4 (▲0.6)	22.9 (3.7)	19.4 (2.6)	17.8 (▲0.7)	15.6 (▲0.2)

(注1) 網掛けは、各属性における最も回答率の高い費目。
 (注2) 括弧内は、前年差を示す。

図表12：支出が増えた上位7費目（全体）の推移



(4) 支出が減った費目

「2017年の家計支出を考えたとき、2016年より支出が減った費目は何ですか（あてはまるもの全て選択）」と尋ねたところ、「レジャー費」が31.5%でトップとなった。次に「衣料費」で26.7%、「外食費」で20.2%となった。（図表13）

支出が減った上位8費目（全体）の推移をみると、1位は「レジャー費」で昨年に続いてトップとなった。2位は「衣料費」で26.7%（前年+2.3%）となり前年3位から順位を上げた。3位は「外食費」で20.3%（前年▲3.9）となり前年2位から3位となった。

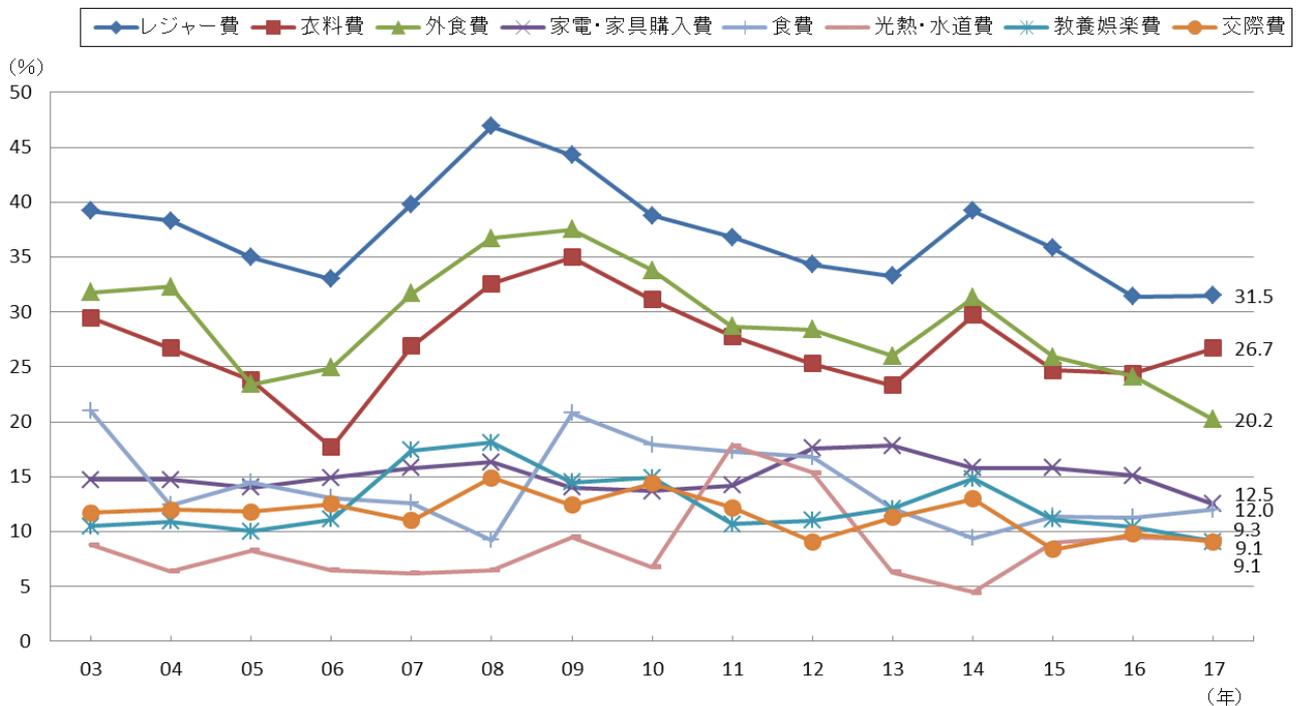
年代別にみると、「衣料費」は40歳代を除く全ての年代で「支出が減った」の回答割合が増加し、特に20歳代では前年より13.8%も増加した。

図表13：支出が減った上位8費目（属性別）

	※複数回答 (%)							
	レジャー費	衣料費	外食費	家電・家具購入費	食費	光熱・水道費	教養娯楽費	交際費
全体	31.5 (0.1)	26.7 (2.3)	20.2 (▲3.9)	12.5 (▲2.6)	12.0 (0.7)	9.3 (▲0.2)	9.1 (▲1.3)	9.1 (▲0.7)
20歳代	28.0 (5.3)	32.0 (13.8)	18.0 (▲4.7)	14.0 (0.4)	6.0 (▲3.1)	10.0 (5.5)	14.0 (2.6)	14.0 (▲6.5)
30歳代	23.3 (▲9.1)	20.0 (4.3)	16.7 (▲5.8)	11.1 (▲8.5)	4.4 (▲3.4)	13.3 (▲0.4)	3.3 (▲3.6)	10.0 (4.1)
40歳代	42.9 (7.3)	18.5 (▲1.3)	22.8 (▲5.9)	12.7 (▲2.2)	6.9 (▲2.5)	6.3 (1.8)	10.1 (▲1.3)	5.8 (▲3.1)
50歳代	27.5 (▲1.1)	29.9 (0.2)	19.4 (0.1)	9.5 (▲4.0)	18.0 (3.4)	10.4 (0.0)	9.5 (0.1)	9.0 (▲0.4)
60歳以上	27.7 (▲3.1)	39.4 (4.8)	21.3 (▲4.7)	19.1 (4.7)	19.1 (5.6)	8.5 (▲6.9)	9.6 (▲3.9)	12.8 (1.3)
岐阜県	32.6 (▲1.7)	24.9 (1.8)	22.3 (▲5.2)	11.4 (▲1.8)	13.4 (1.3)	8.0 (▲2.4)	9.4 (▲1.0)	8.3 (1.2)
愛知県	29.0 (0.8)	27.4 (1.1)	17.8 (▲1.1)	13.9 (▲3.1)	9.3 (▲1.1)	10.8 (3.1)	7.3 (▲2.0)	10.8 (▲2.3)
専業主婦	37.2 (12.8)	25.6 (1.2)	21.8 (▲2.6)	16.7 (2.7)	7.7 (▲2.8)	9.0 (▲8.4)	6.4 (▲1.7)	6.4 (▲4.1)
正社員等	26.6 (▲7.0)	27.0 (2.4)	21.2 (▲0.6)	11.2 (▲5.6)	14.3 (3.9)	10.4 (▲1.0)	9.3 (▲1.1)	11.6 (0.9)
パート	32.9 (4.2)	25.6 (0.8)	19.5 (▲7.6)	12.6 (▲1.7)	11.9 (▲0.1)	9.0 (4.0)	9.7 (▲1.5)	7.6 (▲0.5)

(注1) 網掛けは、各属性における最も回答率の高い費目。
 (注2) 括弧内は、前年差を示す。

図表14：支出が減った上位8費目（全体）の推移



(5) 高額商品の購入について

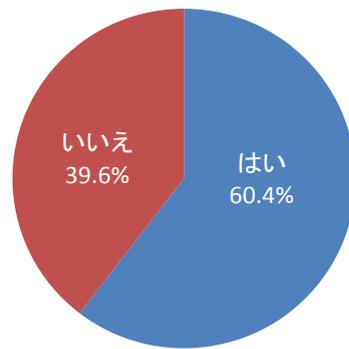
「2017年に1商品10万円以上する高価なお買い物（家族旅行を含む）はしましたか」と尋ねたところ、「はい」は60.4%、「いいえ」は39.6%となった。（図表15）

次に、「はい」と答えた人に「具体的にどんなお買物をしましたか」と尋ねたところ、「国内旅行」が32.8%でトップとなり、次に「一般家電」で29.3%、「自動車の購入・維持」で24.6%となった。（図表16）

購入した高額商品（上位5品目）（全体）の推移をみると、2年ぶりに「国内旅行」が1位となり、「一般家電」は1位から2位に順位を下げた。前回調査は4月に熊本地震が発生し「旅行」を自

重する動きが見られた一方、オリンピックイヤーとしてテレビなどの「一般家電」の購入の動きが見られた。今回調査では、「国内旅行」「海外旅行」が堅調であるものの、「一般家電」は前年の反動を受ける結果になったと推測される。（図表17）

図表15：購入した高額商品の有無



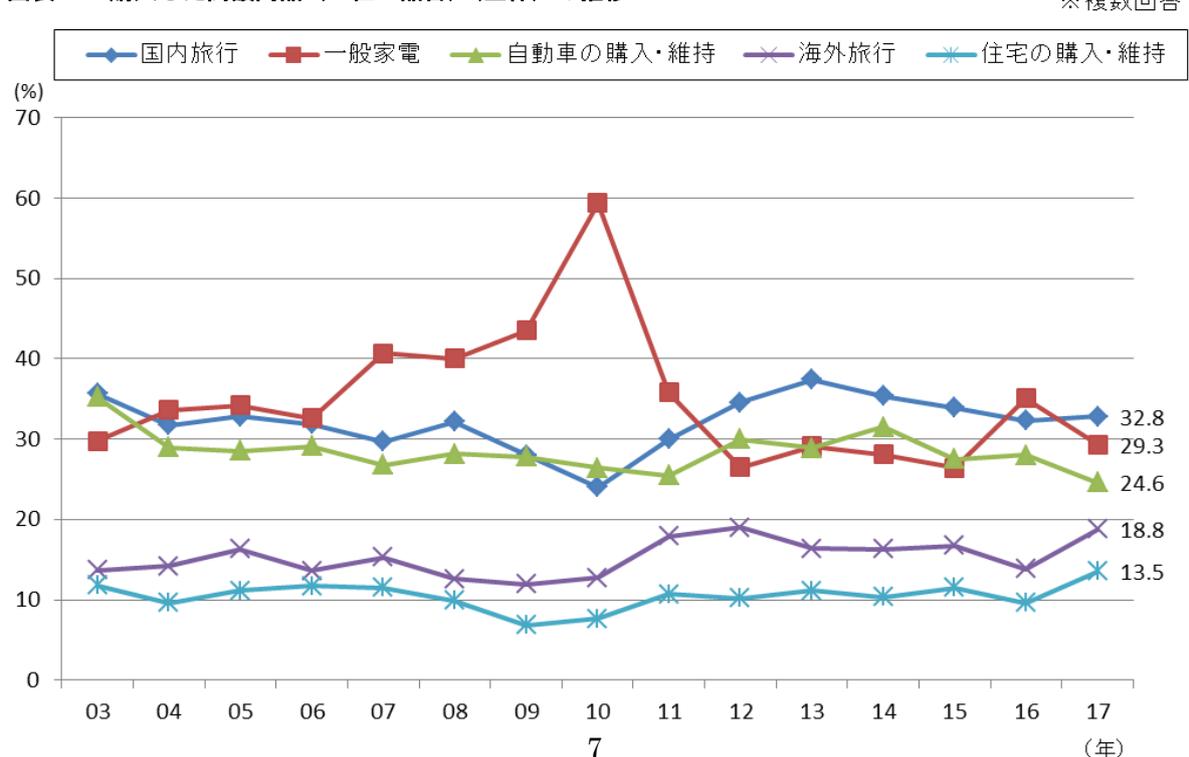
図表16：購入した高額商品（上位5品目）（属性別）

	国内旅行		一般家電		自動車の購入・維持		海外旅行		住宅の購入・維持	
	割合 (%)	前年差 (%)	割合 (%)	前年差 (%)	割合 (%)	前年差 (%)	割合 (%)	前年差 (%)	割合 (%)	前年差 (%)
全体	32.8	(0.5)	29.3	(▲ 5.8)	24.6	(▲ 3.4)	18.8	(5.0)	13.5	(3.9)
20歳代	22.0	(10.9)	39.0	(▲ 5.4)	29.3	(3.4)	48.8	(22.9)	14.6	(▲ 0.2)
30歳代	41.0	(3.7)	28.2	(▲ 1.1)	23.1	(▲ 6.2)	15.4	(▲ 1.9)	19.2	(8.5)
40歳代	31.2	(▲ 6.7)	27.2	(▲ 7.6)	26.4	(▲ 6.9)	12.0	(5.9)	11.2	(5.9)
50歳代	29.8	(2.3)	30.4	(▲ 4.7)	27.3	(5.2)	15.5	(1.0)	9.3	(▲ 2.9)
60歳以上	40.3	(6.5)	25.8	(▲ 12.2)	12.9	(▲ 15.3)	25.8	(7.5)	21.0	(11.1)
岐阜県	31.0	(▲ 0.5)	34.3	(▲ 1.8)	27.3	(0.0)	16.7	(7.0)	11.8	(0.7)
愛知県	33.8	(▲ 0.5)	24.0	(▲ 9.8)	20.6	(▲ 7.3)	21.1	(2.5)	15.7	(6.9)
専業主婦	38.6	(2.2)	28.1	(▲ 6.4)	28.1	(▲ 6.4)	19.3	(6.6)	22.8	(11.9)
正社員等	30.0	(▲ 1.0)	30.9	(▲ 4.8)	19.3	(▲ 8.3)	25.6	(7.5)	15.7	(4.7)
パート	34.7	(1.2)	27.7	(▲ 6.5)	27.7	(1.8)	10.4	(1.5)	7.5	(0.5)

(注1) 網掛けは、各属性における最も回答率の高い費目。

(注2) 括弧内は、前年差を示す。

図表17：購入した高額商品（上位5品目）（全体）の推移



4. 主婦の買物場所

「お買い物場所 11 業態における利用頻度をお答え下さい」とお尋ねしたところ、主婦が最もよく利用する店は従来どおり「スーパー」であった。およそ 2.5 日に 1 度（1 年間に 144.3 回）の頻度で利用されていた。次に「コンビニエンスストア」で 5.2 日に 1 度、「ドラッグストア」で 7.2 日に 1 度となった。（図表 18）

主婦の買物場所 11 業態の内、「ドラッグストア」「ホームセンター」「百貨店」を除き、8 業態で前年から年間利用回数が減少した。一方で「ドラッグストア」は 7.2 日に 1 度と前年の 7.6 日に 1 度から利用頻度を増加した。経済産業省の「商業動態統計月報」によれば、岐阜県・愛知県のドラッグストアの店舗数は年々増加しており、主婦にとって利用しやすい環境となってきたことが要因であると思われる。

図表 18：買物場所の年間平均利用回数

	スーパー	コンビニエンスストア	ドラッグストア	複合型SC	ディスカウントストア	100円ショップ	ホームセンター	通信販売	商店街	百貨店	家電量販店
全体	144.3 (▲10.7)	70.2 (▲3.8)	50.7 (2.9)	22.9 (▲0.7)	19.9 (▲0.2)	16.6 (▲1.4)	16.3 (0.7)	11.6 (▲0.5)	6.2 (▲1.8)	5.9 (0.0)	3.9 (▲0.4)
20歳代	100.0 (▲24.4)	88.3 (▲33.5)	48.9 (▲0.2)	23.4 (0.7)	22.3 (▲1.2)	20.2 (▲2.8)	10.7 (▲0.7)	18.9 (▲3.4)	1.2 (▲1.5)	5.2 (▲0.2)	4.8 (1.2)
30歳代	119.9 (2.1)	86.9 (8.0)	51.5 (▲1.7)	31.1 (0.6)	20.5 (▲0.5)	22.0 (4.5)	13.4 (1.1)	18.8 (0.3)	0.7 (▲2.7)	5.8 (1.4)	3.8 (▲1.3)
40歳代	159.1 (▲0.1)	69.2 (▲10.1)	59.8 (10.9)	18.5 (▲5.9)	21.2 (▲0.9)	17.0 (1.1)	13.8 (▲1.1)	12.0 (3.4)	2.4 (▲1.0)	4.8 (0.3)	3.6 (▲0.1)
50歳代	143.7 (▲29.6)	66.5 (4.5)	45.0 (▲2.7)	23.2 (2.7)	17.9 (▲0.2)	13.7 (▲2.9)	18.5 (1.6)	7.4 (▲2.2)	7.3 (▲1.4)	5.6 (▲0.2)	3.4 (▲0.7)
60歳以上	162.8 (▲2.9)	55.7 (▲2.8)	44.6 (4.8)	23.8 (3.8)	18.3 (1.5)	14.5 (▲7.3)	22.6 (3.2)	7.9 (▲3.9)	20.2 (▲2.0)	9.3 (▲1.2)	6.0 (0.0)
岐阜県	139.0 (▲9.3)	65.3 (▲9.5)	54.6 (2.9)	23.0 (0.9)	25.1 (2.2)	14.9 (▲2.0)	17.8 (1.9)	9.7 (▲2.3)	8.0 (▲3.2)	4.4 (▲0.3)	4.4 (0.3)
愛知県	151.4 (▲10.4)	78.5 (6.1)	45.7 (2.6)	23.4 (▲2.8)	12.8 (▲3.0)	19.0 (▲0.2)	14.1 (▲0.6)	14.1 (2.3)	3.9 (0.2)	8.2 (0.5)	3.3 (▲1.5)
専業主婦	150.7 (0.3)	55.0 (▲6.1)	51.3 (4.1)	38.4 (9.9)	20.7 (4.1)	19.8 (1.3)	17.3 (0.5)	12.3 (3.0)	7.0 (▲8.6)	7.1 (1.2)	3.2 (▲0.9)
正社員等	127.0 (▲17.5)	87.7 (▲2.2)	47.6 (2.0)	19.9 (▲3.7)	14.5 (▲3.6)	13.0 (▲3.3)	14.8 (0.5)	13.6 (▲1.4)	7.4 (▲2.5)	6.6 (0.4)	4.5 (0.8)
パート	159.4 (▲13.4)	57.8 (▲0.6)	53.3 (3.1)	22.8 (1.2)	25.3 (2.4)	19.8 (1.6)	17.6 (0.8)	9.1 (▲1.3)	4.3 (1.5)	4.8 (▲0.5)	3.7 (▲0.5)
利用頻度 (注1)	2.5 (0.1)	5.2 (0.3)	7.2 (▲0.4)	15.9 (0.4)	18.4 (0.2)	22.0 (1.7)	22.4 (▲1.1)	31.5 (1.2)	58.6 (13.0)	61.6 (▲0.7)	94.7 (9.3)

(注1)「利用頻度」とは、「全体」において、それぞれの業態に訪れる間隔を日数単位で表したものを示す。スーパーであれば24日に1回利用するとの意味。
(注2)括弧の中の数字は、前年利用回数および前年利用頻度との差を示す。

以上